

森中だより

厚木市立森の里中学校6月1日現在
 1年生 60名
 2年生 66名
 3年生 65名
 全校 191名
 発行責任者 平井 真澄
 TEL (046) 248-0727



HP <http://www.edu.city.atsugi.kanagawa.jp/morinosato-js/>

第33回森陵祭 体育大会

5月26日(土)、第33回森陵祭体育大会が「物語～刻まれる新しい1ページ～」の
 スローガンのもと、盛大に開催されました。4月の抽選会で決まった白組団(3-1、2-1、1-1)と赤組団(3-2、2-2、1-2)に分かれ、ムカデ競争や綱引き、色別対抗リレー、クラス全員リレー、各学年独自の学年創作種目等を行いました。また、3年生を中心に時間をかけて練習した応援合戦では、赤組団・白組団ともに工夫を凝らした掛け声やダンスなどを披露しました。

体育大会実行委員が中心となり全校生徒で創り上げた体育大会は、応援や参観をしてくださった多くの皆様のお力を得て、今年も大成功に終わることができました。ありがとうございました。



選手宣誓



色別リレー



綱引き



1学年種目



2学年種目



3学年種目



白組 応援



赤組 応援

実行委員長のことば（閉会式） 3年2組 増田 芽衣

すべての協議が終わり、結果を聞いて、様々な思いがあると思います。勝った組はうれしいですし、負けた組は悔しいですね。もちろん結果は大切ですが、これまでの道のりも大切ではないでしょうか。悔いのないよう全力でできたかというのも大切だと思います。今日の体育大会は全校生徒のみなさんが、頑張ってきたことを出し切っていたと思います。私たち3年生は今年が最後ということもあり、勝ちたいという気持ちが強くあったと思います。うまく練習を進められない時もありましたが、自分たちなりに頑張りました。1, 2年生は、体育大会で私たちが創り上げてきたもの以上のものを目指して頑張ってください。

今日の体育大会は、全校で素晴らしいものを創り上げることができたと思います。森中の新しい物語の1ページとして刻まれたと思います。物語はまだ始まったばかりです。文化発表会でもみんなで協力し、素晴らしいものを創り上げていきましょう。



☆ 体育大会を終えて ☆

白組団長 3年1組 島崎 圭佑

終わってしまった。負けた悔しさ、全力投球したからこそその空虚感、もっと自分にリーダーシップがあったら勝てたのではないかという無力感。いろいろな思いがごちゃごちゃになっています。

だけど、そんな中で一番大きいのは感謝です。何も取り柄のない自分を団長にしてくれ、そんな団長についてきてくれた白組のみなさんには感謝しかありません。練習の時は、素早い行動と理解力でとても助けられたし、応援団のみんなが積極的に意見を出し、行動してくれたおかげで楽しい3週間でした。負けたという事実は変わりませんが、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



赤組団長 3年2組 熊澤 風樹

体育大会を終えて、白組と切磋琢磨してきた日々が終わり、もとの学校生活に戻って少し寂しいです。

結団式から本番当日まで、多くの困難やうれしいことがありました。例えば、応援の練習をうまく進められなかったり、仲間との想いが食い違っていたりと、数々の辛いことがありました。しかし、その分総合優勝や応援合戦で優勝したときのうれしさは、今までにないようなものでした。

そのうれしさは、多くの困難を乗り越え、赤組の全員で掴んだものだからこそ得られたものだと思えます。そして、体育大会で培ったクラス、学年、縦割り、全校の団結力を文化発表会や他の行事に活かして行きたいです。

